

FION連携活動について

本年度のFIONは 従来の推進会議開催のみならず、今後の産学官連携につながる活動に積極的に取り組んだ。 その代表的な事例として「フード・フォーカスinにいがた」と連携した活動をご紹介します。

【 コンパス・ステージ 】

2014年10月31日(金) 朱鷺メッセ4階=マリンホールにて、フード・フォーカスのコンパス・ステージ(企業向けシンポジウム<3部制>)が開催される。 新潟市のみならず 県下全域より191名の参加者。

第 1 部

基調講演

「食の機能性研究の現在と将来」

FIONのテーマでもある「食の機能性」について東北大学教授の 宮澤陽夫氏より、興味深いお話が続きました。



東北大学教授 宮澤陽夫氏による基調講演が行われました。



第 2 部

「オランダ・フードバレー紹介のビデオ上映」

昨年10月、FIONメンバーも多数参加したオランダ・フードバレーについて、ビデオを見ながら、そのポイントについて 公益財団法人にいがた産業創造機構の峰尾茂氏より説明を受ける。



公益財団法人にいがた産業創造機構の峰尾茂氏より、フードバレーの概要説明。

第 3 部

パネル・ディスカッション「新潟の食の商品化とブランド化」

FIONメンバーを中心としたパネル・ディスカッション。新潟の食の活性化に向けそれぞれの立場での興味深いお話を伺うことが出来た。

特にFION幹事でもある新潟薬科大学 副学長 石黒正路氏からは、今後新潟の食産業においてFIONの位置付けが重要視されるのでは・とのご提言がありました。



パネリストは、新潟薬科大学 副学長 石黒正路氏、江川技術士事務所 所長 江川和徳氏、(株)和僑商店 代表取締役 葉葺正幸氏。ファシリテーターは、新潟IPC財団 椎葉彰典氏。

【 ガイダンス・ステージ 】

2014年11月1日(土) 朱鷺メッセ3階=中会議室301にて、フード・フォーカスのガイダンス・ステージ(市民向け講演会)の第7回市民公開講座 新潟「食と健康」フォーラム・『健康で長生きしましょう』が開催され、140名の聴講者にご参加いただく。



開会挨拶

新潟大学大学院医歯学総合研究科
特任教授 斎藤 亮彦 氏

講演1

「にいがたの食卓」

～美しい大地、豊かな実り、
農村に暮らす人々の知恵を食卓に～
Niigata Food Design主宰、料理研究家
石田 恭子 氏





講演2 「糖尿病と食」

新潟市民病院 内分泌・代謝内科科部長
宗田 聡 氏



講演3

「皮膚の老化と食事の深い関係」 ～食べたもので体は入れ替わる～

野本真由美スキンケアクリニック院長
野本 真由美 氏



閉会挨拶

前新潟大学学長 下條 文武 氏

